

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	19002001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	水田エコテクノロジーによる西アフリカの緑の革命実現とアフリカ型里山集水域の創造		
研究代表者名 (所属・職)	若月 利之（近畿大学・農学部・教授）		

【平成22年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(評価意見)		
<p>本研究の主な課題は、これまで緑の革命が成果を挙げてこなかった西アフリカ地域において、多様な生態環境と土地システムに応じた自力展開可能な水田開発戦略を提示することであり、理論的にも実践的にも極めて野心的なものである。</p> <p>これまで、複数の国際機関の協力を得て、ナイジェリアおよびガーナのいくつかのアクションリサーチサイトで、農民の自助努力による適地適田開発が着実に進行しており、その有効性が実証されつつあると言える。</p> <p>今後は、上記諸国の政府関連組織や社会全般に積極的に働きかけるなど、本研究が提示する水田開発戦略の受け入れ先を飛躍的に拡大するための方法を明確化し、より大きな成果を挙げることが期待される。</p>		

【平成24年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究の目的は、これまで緑の革命が成果を挙げてこなかった西アフリカ地域において、多様な生態環境と土地システムに応じた自力展開可能な水田開発が可能であることを実践的に提示し、その実現の戦略を提示することにあつた。</p> <p>これまで、ナイジェリア及びガーナのいくつかのアクションリサーチサイトで、複数の国際機関との連携により、農民の自助努力による適地適田開発が着実に進行しており、その有効性が実証されつつあると言える。</p> <p>こうした水田開発戦略を更に大きく展開させ、より大きな成果を挙げるためには、自力展開可能で持続的な水田開発を現実に可能とする社会経済条件や文化的要因などを解明することが必要と考えられ、今後、これまでの研究成果を基に、かかる方向でも研究が進められることを期待する。</p>
A	